



新機能および変更された機能に関する情報

この章では、このマニュアルの各リリースで追加または変更された情報と、その情報が記載されている場所を示します。

機能	説明	対象リリース	参照先
UUFB	スイッチの転送パスがフラグディングしないように不明なユニキャストパケットをブロックできます。	4.2(1)SV1(4a)	第 16 章「不明なユニキャストフラグディングのブロック」
DHCP スヌーピングリレーエージェント (オプション 82)	DHCP パケットの VSM MAC およびポート情報をリレーするように DHCP を設定できます。	4.2(1)SV1(4)	第 12 章「DHCP スヌーピングの設定」
DHCP スヌーピングバインディングテーブル	インターフェイスの DHCP スヌーピングバインディングテーブルエントリを消去できます。	4.2(1)SV1(4)	第 12 章「DHCP スヌーピングの設定」
DHCP のイネーブル化	feature DHCP コマンドを使用して DHCP をグローバルにイネーブルまたはディセーブルにできます。	4.2(1)SV1(4)	第 12 章「DHCP スヌーピングの設定」
SSH サーバのイネーブル化	feature DHCP コマンドを使用して SSH サーバをイネーブルまたはディセーブルにできます。	4.2(1)SV1(4)	第 7 章「SSH の設定」
Telnet サーバをイネーブルにする	feature DHCP コマンドを使用して Telnet サーバをイネーブルまたはディセーブルにできます。	4.2(1)SV1(4)	第 8 章「Telnet の設定」
HTTP サーバのディセーブル化	HTTP サーバをセキュリティ目的でディセーブルにします。	4.2(1)SV1(4)	第 15 章「HTTP サーバのディセーブル化」
VSD	Virtual Service Domain (VSD; 仮想サービスドメイン) を利用すると、ネットワークサービスのためのトラフィックの分類と分離が可能になります。	4.0(4)SV1(2)	第 3 章「VSD の設定」
DHCP スヌーピング	DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) スヌーピングは、信頼できないホストと信頼できる DHCP サーバとの間でファイアウォールのような役割を果たします。	4.0(4)SV1(2)	第 12 章「DHCP スヌーピングの設定」

機能	説明	対象リリース	参照先
Dynamic ARP Inspection (DAI; ダイナミック ARP インスペクション)	DAI (Dynamic ARP Inspection) とは、レイヤ 2 ブロードキャスト ドメイン内の IP 通信を実現するために、IP アドレスを MAC (メディア アクセス コントロール) アドレスにマッピングする機能です。	4.0(4)SV1(2)	第 13 章「Dynamic ARP Inspection の設定」
IPSG	IP ソース ガードは、IP アドレスと MAC を調べてトラフィックを許可する、インターフェイス単位のフィルタです。	4.0(4)SV1(2)	第 14 章「IP ソース ガードの設定」